

平成23年度
次代を担う子どもの文化芸術体験事業—巡回公演事業—
＜児童劇公演＞

文部科学省許可 社団法人 教育演劇研究協会



まんかいい
100万回生きたねこ



「次代を担う子どもの文化芸術体験事業—巡回公演事業—」

小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、次代の文化の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業です。

公演の実施に当たっては、事前に公演に関するワークショップを行い、児童・生徒を実演に参加させるとともに、実演指導又は鑑賞指導を行います。

ぶんかちょう
文化庁
かぶしきがいしゃ ジェイティービー
株式会社 JTB コミュニケーションズ

げきだん
劇団たんぽぽ

1946年、戦争が終わり、大きな町が焼け野原になり、食べ物もなく、やせた子どもたちが日本中におおぜいいました。「子どもたちの元気な顔が見たい」と、長野県篠ノ井で小百合葉子を中心に子どものための劇を見せる児童劇団「劇団たんぽぽ」をつくりました。はじめのうちはリュックサックに衣裳や道具をつめて、子どもたちのところに行き行って劇を見せました。1953年、静岡県浜松市にひっこしました。1955年、公演活動を認められ、文部省（当時）という国の機関から公益法人格が許可され、社団法人教育演劇研究協会をつくりました。北海道から沖縄まで、主に小・中学校で劇をしています。その他にも先生のための「朗読勉強会」や「学校での表現活動」「演劇ワークショップ」「クリスマス公演」など、教育演劇研究協会としての活動もしています。

こうえんにつてい
公演日程

開催月日	開催校		開催校以外の地元主催者
2月7日	大阪市	大阪市立長吉東小学校	大阪市教育委員会
2月8日	大阪府	貝塚市立東山小学校	大阪府教育委員会/貝塚市教育委員会
2月9日	和歌山県	和歌山大学教育学部附属小学校	和歌山県教育委員会
2月10日	和歌山県	有田市立箕島小学校	和歌山県教育委員会/有田市教育委員会
2月13日	奈良県	生駒市立生駒北小学校	奈良県教育委員会/生駒市教育委員会
2月14日	三重県	名張市立箕曲小学校	三重県教育委員会/名張市教育委員会
2月15日	三重県	伊賀市立友生小学校	三重県教育委員会/伊賀市教育委員会
2月16日	三重県	津市立榊原小学校	三重県教育委員会/津市教育委員会

し
知ってますか?~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

まんかい い 100万回生きたねこ

原作・絵／佐野洋子（講談社刊） 脚色／久野由美 演出／ふじたあさや
 音楽／遠山裕 振付／佐久間尚美 美術・衣裳／坂本真彩・山土井志麻
 音響／山北史郎 制作／上保節子



とうじょうじんぶつ 登場人物

- ◆ とら ◆ 王さま
- ◆ かしん ◆ ふなの船乗り
- ◆ 家臣 ◆ てじなし
- ◆ 手品師 ◆ どろぼう
- ◆ おばあさん ◆ おんなの子
- ◆ ねこたち ◆ しろ白ねこ



あるとき ねこは
 王さまのねこで、
 船乗りのねこで、
 またあるときは
 てじなし
 手品師のねこで、
 あるときは
 どろぼうのねこ。
 でも、ねこの命が
 いちばん
 かがやいたのは…。
 100万回も生きて
 100万回も死んだ
 ふしぎなねこの
 ものがたり。

あ
 る時、ある場所に、百万回生き
 たねこがいました。
 ねこは死んでは生き返る
 たびに、さまざまに人間に飼われますが、
 ねこはみんなが大きい。人間たちはねこ
 が死んだ時に泣きましたが、ねこは一度も
 泣きませんでした。
 そんなある日、そのねこは、はじめて
 ノラネコに生まれかわりました。他のノラ
 ネコたちはこのねこが大好きになりました
 が、その中のたった一匹が、このねこに見
 むきもしない白いねこがいました…。



わたしたち劇団たんぼぼは、
 十二年前に初めて「100万回生きた
 ねこ」を上演しました。劇を見た子ど
 もたちからは、「この劇を世界中の人
 に見てもらいたいと思います。今つ
 らい思いをして自分の命をこの世か
 ら消そうとしている人にも自分の命
 の大切さがわかってもらえらると思
 います。」「一度しかない人生をせい
 ばい生きようといわれた気がする」。

生きる…

— 上演にあたって —

などの感想文が寄せられました。
 この「100万回生きたねこ」は佐
 野洋子さんの作品の中でも多くの人
 に読まれている作品です。この作品を
 通して「生きる」ということを、みな
 さんと考えていきたいと思っていま
 す。
 ついで、100万回生きたねこつ
 てどんなねこ？それはその日まで
 の、お・た・の・し・み…。

